

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和2年 7月 28日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都市中京区西ノ京桑原1番地	氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 島津製作所 代表取締役社長 上田 輝久

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	株式会社 島津製作所 本社地区事業所及び関連事業所
導 入 年 月 日	1997年 6月 24日
認 証 番 号	01 104 1934345
基 本 方 針	島津製作所 本社地区事業所及び関連事業所は、計測機器、医用機器、航空機器、産業機械の4つのセグメントおよび関連事業の拡大に努めるとともに、組織の活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉えて環境パフォーマンスを向上させるため環境マネジメントシステムを継続的に改善することで、組織および社会の持続的な環境負荷低減と汚染予防を目指して活動する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	令和元年度目標 ・エネルギーに起因するグローバルなCO2排出量の削減:社内目標47,181ton以下 ・化学物質管理・法令順守体制強化による環境リスクの低減 ・エコラベル適合製品のグローバル売上高を500億円以上にする。
目標を達成するための取組の内容	・省エネ施策の立案と実施(ファシリティ・生産)、再エネルギー導入施策の立案と実施、省エネに関する教育の実施 ・化学物質管理教育の実施、法規制に基づく年次報告状況の確認、ゼロエミッションの維持 ・開発計画に基づき開発を実施
目標を達成するための取組の進捗状況	・省エネ施策を継続実施し。再エネルギー導入施策を実施、省エネに関する教育を実施。 ・化学物質管理教育の実施、法規制に基づく年次報告状況の確認、ゼロエミッションの維持を継続中 ・開発計画に基づき開発を実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	令和元年の実績 ・2019年度グローバルなCO2排出量は、社内目標47,181tonに対して実績は46,538tonであった。 ・化学物質に関する法令主管部門間の連携を強化して、定期的な情報共有を実施している。 ・2019年度のエコラベル適合製品の売上高は473億円と目標には届かなかった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法令の違反に対する罰金過料を伴うような違反はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、マネジメントレビューで、1年に1回実施している。 令和2年4月27日に開催した環境委員会でマネジメントレビューを実施し、当社本社地区事業所および関連事業所の環境マネジメントシステムの適合性、妥当性及び有効性は確実に維持していることを確認した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。